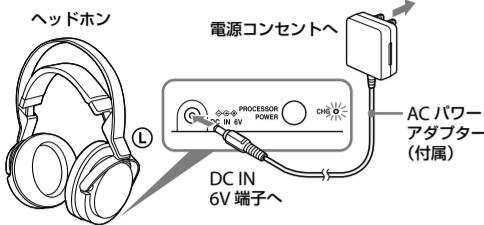


ヘッドホンを充電する

本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。充電してからお使いください。
MDR-DS7100 の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ヘッドホンの DC IN 6V 端子と電源コンセントに接続します。

ヘッドホンの CHG ランプが赤く点灯し、充電が始まります。



約 3 時間後に充電が完了し、CHG ランプが消灯します。

充電が完了したら、AC パワーアダプターをはずします。

ご注意
充電は 0°C ~ 40°C の環境で行なってください。
この範囲を超えると満充電されない場合があります。

充電時間の目安と持続時間

充電時間	持続時間 *1
約 3 時間 *2	約 13 時間 *3
約 30 分 *4	約 3 時間 *3

*1 1 kHz, 1 mW +1 mW 出力時

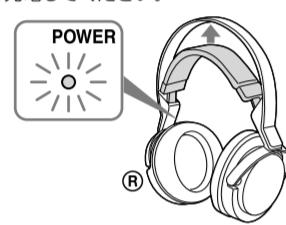
*2 電池残量がない状態から、満充電するのにかかる時間

*3 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

*4 電池残量がない状態からの時間

充電式電池の残量を確認する

フリーアジャストバンドを引き、右ヘッドホンの POWER ランプが緑色に点灯すれば使用できます。POWER ランプが点灯しないときや、ランプが暗い、音が途切れたりするときは、充電してください。



ご注意

・長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。

・充電式電池の持続時間が通常の半分ぐらいいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。充電式電池の交換については、お近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。

プロセッサーの ID をヘッドホンに登録する

プロセッサーには固有の ID が設定されています。本機を増設する場合は、プロセッサーに設定されている ID をヘッドホンに登録しなければ使用することができません。必ず登録作業を行ってください。

1 プロセッサーの電源を入れる。

ヘッドホンの電源が入ります。

ご注意

内部の充電式電池を事前に充電するか、ヘッドホンに電源をつないでから登録作業を行なってください。

3 ヘッドホンのビーピ音が変わまるまで EFFECT/ID SET ボタンを押し続ける。

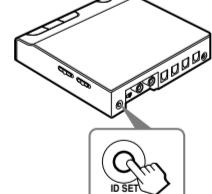
ヘッドホンからのビーピ音の聞こえたが変わり、ヘッドホンが ID 登録待機状態になります。



4 プロセッサーの ID SET ボタンを押す。

プロセッサーから ID が送られます。

増設したヘッドホンに ID が登録されたらビーピ音が「ビー」と変化し、使用可能になります。



ご注意

・ヘッドホンの ID 登録待機状態は約 30 秒です。

この間にプロセッサーの ID SET ボタンを押してください。

・複数台を同時に ID 登録作業することはできません。1 台ずつ登録してください。

▶ 使いかた

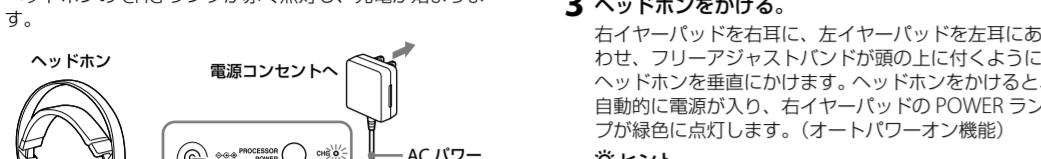
音声を聞く

MDR-DS7100 の取扱説明書もあわせてご覧ください。充電してからお使いください。

1 音声を聞く機器の電源を入れる。

2 プロセッサーの電源を入れる。

3 ヘッドホンをかける。



約 3 時間後に充電が完了し、CHG ランプが消灯します。

充電が完了したら、AC パワーアダプターをはずします。

ご注意
充電は 0°C ~ 40°C の環境で行なってください。
この範囲を超えると満充電されない場合があります。

充電時間の目安と持続時間

充電時間	持続時間 *1
約 3 時間 *2	約 13 時間 *3
約 30 分 *4	約 3 時間 *3

*1 1 kHz, 1 mW +1 mW 出力時

*2 電池残量がない状態から、満充電するのにかかる時間

*3 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

*4 電池残量がない状態からの時間

▶ その他

本機を廃棄する

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身で行ないます。「使い方相談窓口」にご相談ください。「使い方相談窓口」の連絡先は本取扱説明書内の「保証書とアフターサービス」に記載されています。

使用上のご注意

取り扱いについて

- ・本機を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- ・本機を分解したり、開けたりしないでください。

設置について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光がある場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所。
- ほこりの多い所。
- ぐらついた台の上や傾いた所。
- 振動の多い所。
- 風呂場など、湿気の多い所。

AC パワーアダプターについて

- ・必ず MDR-DS7100 に付属の AC パワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をお使いください。プラグの極性など異なる製品を使うと、故障の原因になります。



・電圧やプラグ極性が同じ AC パワーアダプターでも、電流容量その他の要因で故障の原因になります。必ず MDR-DS7100 に付属の AC パワーアダプターをご使用ください。

- ・AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

- ・AC パワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。

- AC パワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。

- 火災や感電の危険をさけるために、AC パワーアダプターを水のかかる場所や温湿度のある場所では使用しないでください。また、AC パワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

- ・長い間使わないときは、AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。コンセントから抜くときは、コードを引っぱらずに必ず AC パワーアダプター本体をつかんで抜いてください。

ヘッドホンについて

まわりの人のことを考えて

ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

・音量の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行なう法律に罰せられることがあります。

- ・本機を分解・改造すること
- ・本機に貼つてある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は 2.4 GHz 帯の 2,400 GHz から 2,485 GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていることを確認してください。

2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口について詳しくは、本取扱説明書をご覧ください。

【2.4 DS 4】この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式としては DS-SS 方式を採用し、与干涉距離は 40 m です。

イヤーパッドについて

イヤーパッドは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、破損したら交換してください。

イヤーパッドを交換する場合は、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

故障かな?と思つたら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

音が出ない

- プロセッサーと AV 機器の接続を確認する。
- デジタル機器の光デジタル出力端子とプロセッサーの DIGITAL OUT 端子をつないでいる。
- プロセッサーの DIGITAL IN 端子につなぎ直す。
- INPUT ボタンで「DIGITAL 1 (または 2)」を選択している場合は、つないだデジタル機器の光デジタル出力設定が「OFF」や「[切]」にならないか確認する。
- プロセッサーにつないだ AV 機器の電源を入れ、再生を始める。
- プロセッサーにつないだ機器の音量を上げる。
- INPUT ボタンで、音声を聞きたい機器を正しく選んでいるか確認する。
- プロセッサーの LINE IN (L/R) 端子に AV 機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンを頭の上から重直にかけ直す。
- ヘッドホンの音量を上げる。
- ヘッドホンの充電式電池が消耗しているので充電をする。充電をしてもヘッドホンの POWER ランプが点灯しない場合は、お近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- DTS に対応していない BD/DVD 機器で DTS 音声トラックを再生している。
- DTS に対応した BD/DVD 機器を使用する。または Dolby Digital や PCM 音声トラックを選択する。
- プロセッサー（ゲーム機を含む）の DTS デジタル出力設定が「OFF」や「[切]」の状態で、DTS 音声で収録された DVD を再生している。
- お使いの BD/DVD 機器で「[ON]」や「[入]」に切り換えてください。
- BD/DVD 機器（ゲーム機を含む）を本機の LINE IN (L/R) 端子に接続している状態で、DTS 音声で収録された BD/DVD を再生している。
- DIGITAL IN 端子に接続しているときは、音声が出力されない場合があります。
- 増設したヘッドホンにプロセッサーの ID を設定していない。
- ヘッドホンにプロセッサーの ID を登録する。
- プロセッサーに接続している機器の出力信号のサンプリング周波数を 48 kHz/44.1 kHz に設定する。

音がひずむ、とぎれとぎれになる（同時にノイズが出る場合もある）

- ヘッドホンの充電式電池が消耗しているので充電をする。充電をしてもヘッドホンの POWER ランプが点灯しない場合は、お近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- プロセッサーとヘッドホンの周辺に 2.4 GHz 帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認する。
- プロセッサーの位置を変える。
- INPUT ボタンで「ANALOG」を選択したときに症状が出る場合は、プロセッサーの ATT スイッチを「-8dB」に切り換える。
- プロセッサーの LINE IN (L/R) 端子に AV 機器のヘッドホン端子をつながないときは、つないだ機器の音量を下げる。
- 本システムの周波数チャンネルの設定を「[AUTO]」に設定してお使いのときは、自動的にチャンネルが切り替わったときに音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- プロセッサーに接続している機器の出力信号のサンプリング周波数を 48 kHz/44.1 kHz に設定する。

音が小さい

- INPUT ボタンで「ANALOG」を選択したときに症状が出る場合は、プロセッサーの ATT スイッチを「0dB」に切り換える。
- プロセッサーの LINE IN (L/R) 端子に AV 機器のヘッドホン端子をつながないときは、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの音量を上げる。

雑音が多い

- プロセッサーとヘッドホンの周辺に 2.4 GHz 帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認する。
- プロセッサーの LINE IN (L/R) 端子に AV 機器のヘッドホン端子をつながないときは、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの充電式電池が消耗しているので充電をする。充電をしてもヘッドホンの POWER ランプが点灯しない場合は、お近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。

充電できない

- ヘッドホンと AC パワーアダプター、電源コンセントの接続を確認する。
- 充電式電池に劣化などの異常がある。
- お買い上げ店またはお近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。

CHG ランプが点滅する</div